

札幌市長 秋元克広 様

2020年11月30日

日本共産党北海道委員会 委員長 青山 慶二

日本共産党札幌市議団 団長 村上 ひとし

新型コロナウイルス感染症対策に関する緊急要望

新型コロナウイルス感染症の拡大抑止のために全力をあげておられる、市長はじめ本市職員みなさんに敬意を表します。

全国、とりわけ札幌市で新型コロナウイルスの感染が急拡大し、医療機関や介護施設等でのクラスターの急増、医療機関での部分的な業務の縮小と逼迫する医療現場、有症患者の自宅療養の増加など、日々、事態は深刻さを増しています。

感染拡大を抑止し、医療崩壊を食い止める対策が急がれており、そのために、以下のことを要望いたします。

記

1. 4定補正で一定の補助が示されましたが、介護と障害福祉サービス事業所について、通所型も対象にするとともに医療機関、福祉施設、保育園、学校など集団感染リスクの高い施設に勤務する職員や利用者などに対し、ただちにPCR検査を実施すること。また、定期的に検査を行いクラスターの発生を未然に防止すること。

2. 行政検査の対象を拡大し、すすきの地区について、すべての飲食店の従業員に対するPCR検査を本市が積極的に出向いて実施すること。これらの検査費用は、全額国庫負担で行うよう国に求めること。

3. 発熱外来を実施している医療機関の状況をつかみ、支援を強化すること。

4. 保健所の体制をさらに強化し、PCR検査をはじめ陽性者の保護・隔離・治療などの対応、疫学調査などが遅滞なくすすめられるようにすること。

5. 感染患者を受け入れている医療機関に対し、人的等の支援をさらに強めること。

6. 地方創生臨時交付金の追加交付は500億円にとどめず、地方自治体の要望にもとづき予備費7兆円の緊急出動を求めること。